

3. システム開発

3. 3 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント（プロジェクト・タイム・マネジメント）

問題 1

プロジェクト・タイム・マネジメントのスケジュール・コントロールにおいて、マイルストーンとして設定するものはどれか。

- ア. 結合テスト工程
- イ. コーディング作業
- ウ. 設計レビュー開始日
- エ. 保守作業

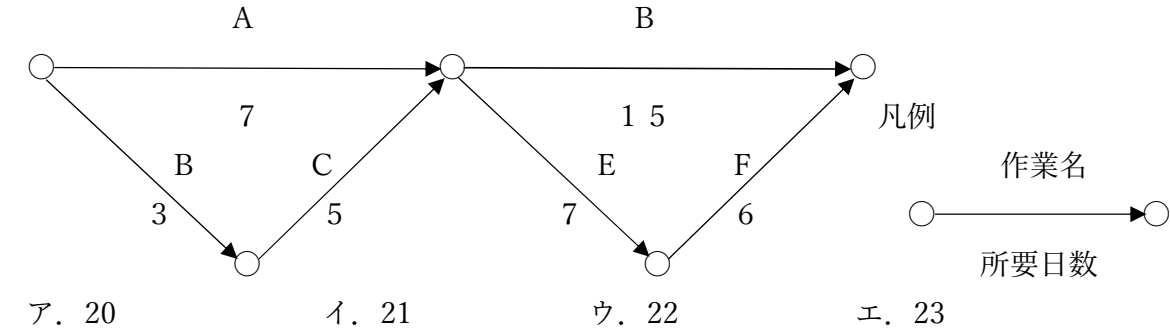
問題 2

全体の総所要日数に影響を与える作業だけで構成された、重点的にスケジュール管理しなければならない経路を何というか。

- ア. WBS
- イ. アクティビティ
- ウ. クリティカルパス
- エ. ワークパッケージ

問題 3

次の PERT 図で表されるプロジェクトの総所要日数は何日か。



問題 4

時間や日付を横軸に取り、タスク（作業）を縦軸に取って所要時間に比例した長さで表した工程管理図はどれか。

- ア. E-R図
- イ. アローダイアグラム
- ウ. ガンチャート
- エ. 状態遷移図

問題 5

要件定義後の外部設計、内部設計、プログラミング、結合テスト、システムテストを行う開発プロジェクトにおいて、生産性を規模÷工数で表すものとする。プログラミングの生産性を 1 とした場合の内部設計と結合テストの生産性は 2、外部設計とシステムテストの生産性は 4 である。外部設計に 1 人月を要するとき、プロジェクト全体の工数は何人月必要か。

- ア. 5
- イ. 7
- ウ. 10
- エ. 13

問題 6

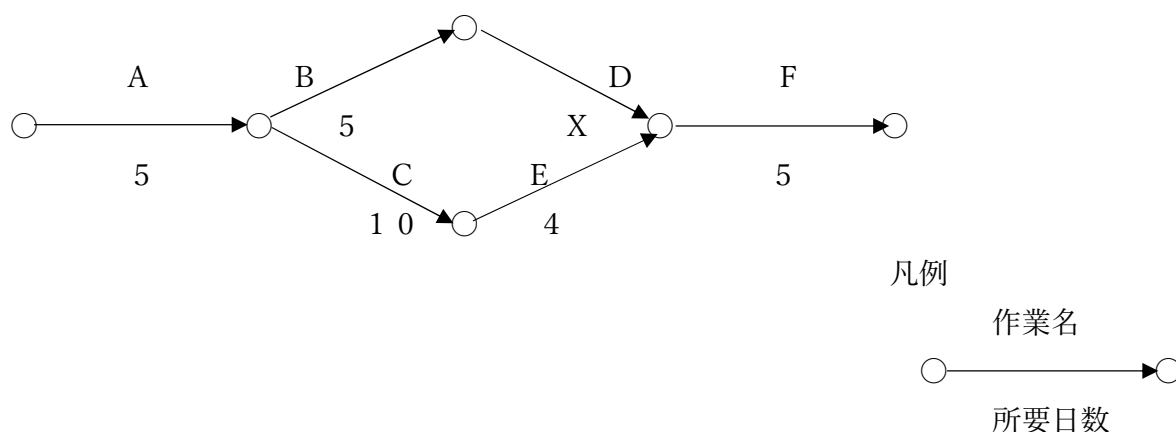
あるシステムの設計工程における設計書作成の予定所要工数、及び現在の各設計書の進捗率は表のとおりである。予定どおりの所要工数で完了まで進むものとして、すべての設計書の完了を 100% としたとき、現在の全体の進捗率 (%) は幾らか。

	予定所要工数（時間）	現在の進捗率（%）
外部設計書	500	100
内部設計書	700	50
プログラム設計書	900	30

- ア. 40
- イ. 47
- ウ. 53
- エ. 60

### 問題 7

図の作業について、全体の作業終了までの日数は 24 日間であった。作業 C の日数を 3 日短縮できたので、全体の作業終了までの日数が 1 日減った。作業 D の所要日数は何日か。



- ア. 6                      イ. 7                      ウ. 8                      エ. 9

## 3. 3 プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント（その他の知識）

### 問題 1

WBS を作成する目的として、最も適切なものはどれか。

- ア. 進捗管理の作業効率を向上する。  
イ. 成果物とそれを作成するための作業を明確にする。  
ウ. 品質検証のための基準を明確にする。  
エ. プロジェクトの目的を周知する。

### 問題 2

プロジェクトにおける開発予算に関する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- ア. 開発予算と実績の差異を監視し、必要に応じて計画変更を行う。  
イ. 開発予算には、プロジェクトに参加する社員の人件費は含めない。  
ウ. 個々の作業ごとの見積りコストを積算して、開発予算を求めてはならない。  
エ. 作業の進捗度や達成度は、開発予算と無関係である。

### 問題 3

ある作業を 6 人のグループで開始し、3 か月経過した時点で全体の 50% が完了していた。残り 2 か月で完了させるためには何名の増員が必要か。ここで、途中から増員するメンバの作業効率は、最初の 6 人の作業効率とかわらないものとする。

- ア. 1                      イ. 2                      ウ. 3                      エ. 4

### 問題 4

ステークホルダとの良好な関係を築くために、情報を適宜、提供する計画を管理するものはどれか。

- ア. プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント  
イ. プロジェクト・スコープ・マネジメント  
ウ. プロジェクト調達マネジメント  
エ. プロジェクト品質マネジメント

## 問題 5

プロジェクトにおいて、当初のプロジェクト範囲に含まれている、予測はできるが発生することが確実ではないイベントの対策費用のことをコンティンジェンシー予備という。次のうち、コンティンジェンシー予備に分類するのが適切なものはどれか。

- ア. 開発環境で機器が故障したときの機器の入替えに必要なコスト
- イ. 開発進捗を管理するプロジェクトリーダーの作業に必要なコスト
- ウ. プロジェクトスコープ外のユーザの新しい要求に対応するために必要なコスト
- エ. プロジェクトで採用を予定している品質管理ツールの購入に必要なコスト

## 問題 6

システム開発プロジェクトの品質マネジメントには、成果物の品質要求事項や品質標準を定め、それらを達成するための方法を明確にする品質計画プロセスがある。品質計画プロセスの考え方として、適切なものはどれか。

- ア. 過去のシステム開発プロジェクトの成果物に全く同じものが無ければ、過去の品質標準は参考にならない。
- イ. 全てのプロジェクトでスケジュールを最優先すべきなので、目標とする品質を達成させるためのレビューやテストの期間は短くしてよい。
- ウ. 全てのプロジェクトで品質を最優先し、成果物の品質を高めるためには予算に制約を設定すべきではない。
- エ. 目標とする品質を達成させるための活動によってもたらされる、生産性の向上、ステークホルダの満足度の向上などの効果と、必要なコストを比較検討する。

## 問題 7

コミュニケーションの形式には、2 人以上の当事者間で複数方向に情報が交わされる相互型コミュニケーション、特定の人に情報を送信するプッシュ型コミュニケーション、自分の意思で必要な情報にアクセスするプル型コミュニケーションがある。プル型コミュニケーションに該当するものはどれか。

- ア. 社内の掲示板サイトで進捗会議の日程を参照する。
- イ. 主要なメンバに電話し、進捗会議の日程を調整する。
- ウ. テレビ会議システムを使って進捗会議を行う。
- エ. 電子メールに進捗会議の議事録を添付して配信する。